

～テロに対する特別な警戒が必要です～

1 英国では、2017年3月、6月及び9月にロンドンで、5月にマンチェスターでテロ事件が発生しました(※)。

5月のマンチェスター及び9月のロンドンの事件では、国内のテロ脅威度は一時的に5段階中の上から1番目の「critical (危機的。テロの攻撃が差し迫っているとされるレベル)」に引き上げられ、現在も上から2番目の「severe (深刻。テロの発生が極めて高いレベル)」となっています。

2 英国へ渡航・滞在される方は、テロ事件に巻き込まれることのないよう特別な警戒が必要です。具体的には、以下に努めてください。

- 最新の関連情報の入手に努め、滞在先や個別の訪問先の治安状況や警備体制を確認するなど、不測の事態を想定し、行動する。
- テロの標的となりやすい場所(＃)を訪問する場合には、滞在時間を可能な限り短くし、避難経路を確認しておく等の安全対策を必ず講じる。
- 政府関連施設(特に軍、警察、治安関係施設)には近づかない。
- 周囲の状況に注意を払い、不審な状況を察知したら、速やかにその場を離れるなど安全確保に努めるとともに、現地当局の指示があればそれに従う。

(＃) コンサート会場、公共交通機関等、記念日・祝祭日等のイベント会場、観光スポット、観光地周辺の道路、レストラン、ホテル、ショッピングモール、パブ、ナイトクラブ、映画館等人が多く集まる施設、教会・モスク等宗教関係施設

3 その他、詳しくは、スポット情報、広域情報や以下の資料を御参照ください。
安全対策基礎データ

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=154>

テロ・誘拐情勢

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror.asp?id=154>

(※) 2017年に入って英国で発生したテロ事件

【ロンドンにおける英議会下院及び周辺でのテロ事件】

- 2017年3月22日(現地時間)、ロンドン中心部・ウェストミンスター橋の歩道を車両が暴走して多数の通行人を轢き、その後ナイフを持った男が英議会下院への侵入を試み警官1名を刺殺する事件が発生し、警官を含む4名が死亡、約50名が負傷した。
- この事件について、事実上のISILの通信社とされる「アアマーク通信」は、本件が「ISの兵士(soldier)」による犯行であるとしている。

【マンチェスターのコンサート会場における爆発事件】

- 2017年5月22日(現地時間)、マンチェスター中心部のマンチェスター・アリーナで、コンサートの

終わりに会場の出口付近で爆発物を持った男が自爆する事件が発生し、22名が死亡、100名以上が負傷した。

- この事件について、ISILはSNS上で本件が「カリフの戦士」によるものとする犯行声明を発し、更なるテロを予告した。

【ロンドンにおけるロンドン橋付近でのテロ事件】

- 2017年6月3日（現地時間）、ロンドン市内ロンドン橋の歩道で、車両が歩行者を次々と轢き、その後降車し男3人が付近のバラ・マーケット（Borough Market）で多くの人々を刃物で刺す事件が発生し、これまでに7名が死亡、約50名が負傷した。
- この事件について、事実上のISILの通信社とされる「アアマーク通信」は、本件が「ISの兵士（fighters）」による犯行であるとしている。

【ロンドンにおける地下鉄での爆発事件】

- 2017年9月15日（現地時間）、ロンドンの地下鉄パーソンズ・グリーン駅付近の車両内で爆発事件が発生し、約30名が負傷した。英国政府は、この事件を受け、テロ脅威レベルを5段階中の最高度の「Critical（テロ攻撃の発生する可能性が危機的なレベル）」に一時的に引き上げた。
- この事件について、事実上のISILの通信社とされる「アアマーク通信」は、本件が「ISILの部隊によるもの」との声明を発出し、更なるテロを予告した。

（了）